



TOPIC

魔法の言葉「ポンポン・ペイン」10人のあいことば

「『ポンポン・ペイン』！？ちょっと変な題名ですね。」天の声（諒さん）のセリフです。この題名に決まった瞬間、正直に言うと「なんじゃそりゃ！」って思いが松原の心の中を駆け巡ったのを今でも覚えています。由貴さんの発案で、確か「ポムポムプリン」から生まれたような…。こうして誕生した『ポンポン・ペイン』。1か月間、たった10人で毎日少しずつ練習を重ね、何度も何度も叫ぶうちに、この言葉は、まさに6年生10人のあいことばになり、みんなをつなぐ魔法の言葉となったのです。

10月11日には、一人一人が精一杯の準備をして本番に臨みました。演技では、これまでで最高の声を出し、緊張感をむしろ楽しむエネルギーに変えて演じきりました。演技中・演技後の観客席からの笑い声と大きな拍手は、子どもたちに「達成感」という最高のご褒美となりました。ありがとうございました。終わった後の作文や話を聞いてみると、どの子も小学校最後のパリ日祭は最高だったという言葉を送ってくれました。

「やるからには、全力で！自分を魅せよう！」本番前、子どもたちに松原からはこの言葉だけをかけました。そして、後期児童会長の司さんが円陣を組んでくれて「みんながんばるぞ！」と気合入れもしてくれました。担任があれやこれや言わなくても、もう立派に自分たちで進むべき道を見出し始めている子どもたち。いよいよ松原は「道しるべ」の役割に移行するときが来たようです。お互いを信じ、先を見て協力し、難しいことや困ったこともみんなで解決しようとする姿が大きく、強くなっているのを感じています。

『ポンポン・ペイン』…「1人ではできないことも、10人の仲間がいるとやり遂げられる。この仲間だからこそやり遂げられた。」宿題で書いた作文には、何人もが同じ想いを綴ってくれていました。松原の心は嬉しさでいっぱいになりました。素敵な成長を遂げた10人に心から拍手を贈ります。

本当によく頑張ったよ！『ポンポン・ペイン』最高！！



SCHEDULE

来週の予定



日	20日(月)	21日(火)	22日(水)	23日(木)	24日(金)
行事					
1	フランス語	フランス語	家庭	理科	理科
2	理科	社会	家庭	国語	音楽
3	体育	算数	社会	書写	算数
4	算数	中学部英語スピーチコンテスト	体育	算数	国語
5	保護者面談<13:50~15:40>				
6					
持ち物	体育着		体育着	習字道具	リコーダー
下校	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40

☆保護者面談 20日~24日

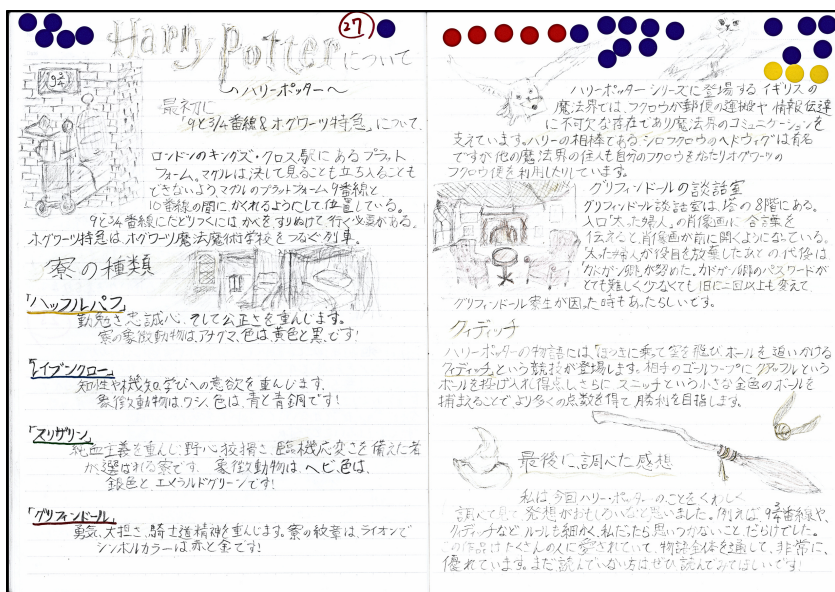
来週は保護者面談になっております。お忙しいと思いますが、ご出席よろしく申し上げます。約15分ずつの短い時間ですが、学校とご家庭での様子や今後の進路などについてもお話をさせていただきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

☆22日(水) 家庭科

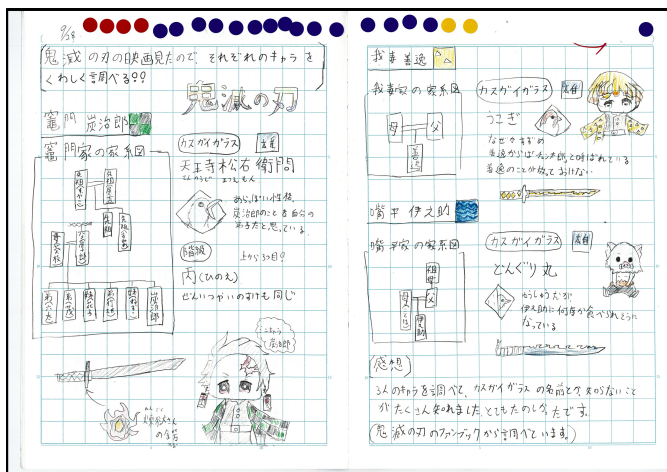
サンカンタンの手芸屋さんに行って、裁縫の授業で使いたいもの(布・レースなど)を購入する予定です。詳しくは子どもたちが授業で聞いています。当日は、購入代金のご用意をお願いします。

第3回自学ノート選手権（5・6年生）～好きを極める自主学習～

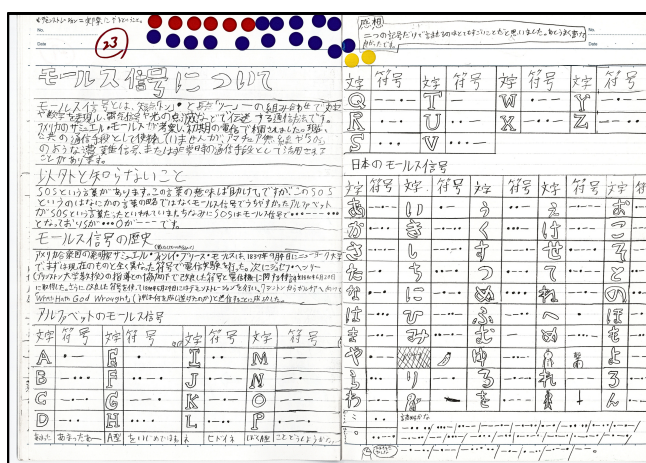
「自学ノート選手権も第3回目となりました。今回は、5年生も参戦！5・6年生合同で評価を
し合いました。「6年生の意地」も感じた今回の自学ノート。これからも時々、競い合ってお互
い成長していきたいと思います。今回の入賞者と実物ノートを紹介します。



第1位 小松茉唯梨さん

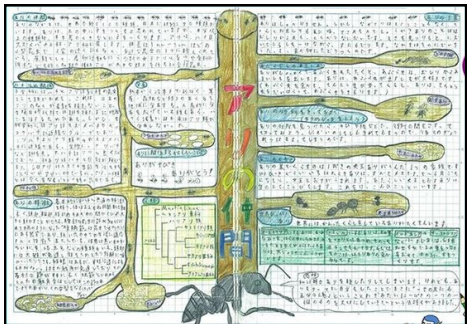
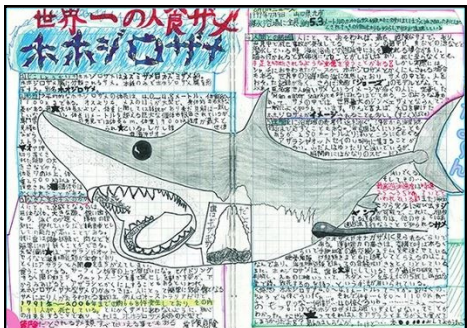


第2位 樋口絵真さん



第3位 伊藤 諒さん

アドバイス 自学ノートレベルアップへの道



自学ノートの作り方は、“自由”…。ですが、カッコいい自学ノートを作るポイントがあります。ポイントは4つ！

1つめは、**見開き1ページに一つのテーマを収めること**。自分の好きなことを調べるのが一番大事。言われてやるのではなく、ワクワクしながら作れるテーマにするべし！

2つめは、**見開きのど真ん中にイラストを大きすぎるくらい大きく描くこと**。はみ出してもいい。たとえば魚なら、水族館の水槽を動き回って見切れているような動きのある絵になります。絵を大きく描けば記述は少なくて済むので、初心者にもハードルが低くなるはず。絵が苦手なら、写真を貼ってもOKです。

3つ目は、**タイトルを書くこと**。タイトルは家の柱のようなもので、ないとグラグラして落ち着きません。埋没しないよう、太めのフェルトペンで大きく書くといいですよ。

4つ目は、**必ず自分の考え・意見を入れること**。考察や疑問は勉強のベースです。あなたの考えが書かれていなければ、そのノートには“温度”がありません！まずは一言でもいいので意見を書くことで、自分の作品になります。だんだん意見の割合を増やしていくといいね。